

★まちの話題 MY TOWN TOPICS

★夏休み学習教室

★身近な魚の骨から進化の秘密を探る

8月17日、長島町開発総合センターで、夏休み学習教室「身近な魚の骨から探る進化の秘密」が開催されました。

この教室は、京都大学の松岡廣繁助教授を迎え、普段食卓に並ぶアジやタイなどの魚を解剖することで、魚とサメの仲間の違いや、エサを捕まえる仕組みなどを参加者に体験してもらいました。

参加者たちは、魚の種類によって形が異なる耳石を取り出して、お土産にしてもらうなど、普段とは異なる視点で魚を見ることの面白さを味わっていました。



↑魚を横に置いて授業を受ける児童ら

★道の日にボランティア

★長島路を綺麗に

8月10日は国土交通省が定める「道の日」。これにあわせて、長島町建友会（木場盛二会長）の会員ら70人が、町内主要道路一円のごみ拾いを行いました。

この日は、日差しの強い一日でしたが、会員らは道路に落ちている空き缶やごみを拾い、お盆を迎え多くの帰省客が通る長島路を綺麗にしました。

また、同会青年部の6人は県道葛輪瀬戸線、川床赤崎間のガードレールを、動力噴霧機とデッキブラシを使って清掃。ガードレールに付いていた汚れは綺麗に落ち、白く輝いていました。



↑ガードレールを掃除する青年部

★大物のカジキマグロを釣り上げる！ 指江集落の一期崎孝昭さん

8月8日、指江港に約150キロのカジキマグロが水揚げされました。

釣り上げたのは、指江集落の一期崎孝昭さん。一期崎さんは、趣味の魚釣りが高じて平成27年に大阪から長島町に1ターンされました。時間を見つけては、自前の船で釣りへ出かけているとのこと。

今回のカジキマグロは、甕島から天草沖でかかったとのこと。余りの大きさと釣り上げるまでに約1時間半を費やしました。

高値で取り引きされるカジキマグロですが、一期崎さんは「釣り上げたこのマグロは、解体して集落のみんなで食べたい」と笑顔で話しました。



↑大物を釣り上げた一期崎さん